



瑞雲

昭島市立瑞雲中学校
校長 山下 久也
令和5年 7月11日

42歳の誕生日

副校長 三田 祐太

先日6月29日は瑞雲中学校開校記念日でした。2年前に40周年を迎えた本校は今年42歳となりました。全校朝礼で山下校長先生から「昭和飛行機の跡地にできた大型団地とともに開校した瑞雲中学校」というお話があったので少し調べてみました。

昭和55年7月8日 昭和飛行機跡地に工事着工

昭和55年12月16日 市校名選定委員会より昭島市立瑞雲中学校と命名

昭和56年3月28日 校舎・体育館・プール竣工 (創立10周年記念誌より)

開校当初の昭和56年度は全校生徒267名、7学級のいわゆる小規模校として発足したが、団地住宅入居者の増加とともに、学校規模の飛躍的な拡大が目の前に迫っている。

(開校1年のあゆみより)

本校は母体校である清泉中学校の『清泉』という「地の恵み」に対する「天の恩」として『瑞雲』（めでたい雲）と命名され、大自然の恩恵に生まれた生徒たちの健やかな成長という、地域の皆様の願いがこめられた学校です。

(創立40周年記念誌より)

市内中学校6校の中で一番若い学校になります。しかしこの42年という時はとても大きな変化をもたらしています。開校当時は300名弱だった生徒数ですが、平成4年度に670名という規模まで大きくなりました。昭和・平成・令和という時代の中でこれまで21,476名の卒業生を輩出してきました。(40周年記念誌より) 校長先生の話の続きに「この町は新しくできた町であり、住んでいる方々が創ってきた町です。今はここがふるさとになっている人もたくさんできました。みなさんもそのような町の中の中学生であるという意識をもちましょう」と話されました。少子高齢化が進む現在の世の中。町の中で中学生という存在はとても大きな力です。令和の瑞雲中学校がスタートしています。50周年、100周年と町の真ん中にある瑞雲中学校であることを願っています。



建設中の瑞雲中学校東門



校庭は開校してから整備されました

生徒の活躍

野球部

10ブロック中学校選手権野球大会

1回戦	5月28日(日)	vs 国立第一・第三中	4-3	○
2回戦	6月10日(土)	vs 小金井南中(第4シード)	3-10	×

多摩地区中学校野球大会10ブロック予選

1回戦	6月24日(土)	vs 拝島中	3-1	○
決定戦	7月2日(日)	vs 小金井第一中	10-5	○



7月30日から始まる第74回多摩地区中学校野球大会に出場が決定しました。

卓球部 東京都中体連第10ブロック夏季卓球大会(女子団体A) 第5位 多摩大会進出
(女子団体B) 第3位

陸上競技部

第74回東京都中学校地域別陸上競技大会多摩大会

都大会出場：3名

男子共通砲丸投	3年	(6位入賞)	2年	(3位入賞)
男子共通円盤投	2年	(2位入賞)		
女子共通走高跳	3年			

第28回西東京陸上競技大会

男子1年100m	1年	(1位入賞)
男子共通3000m	2年	(3位入賞)
男子共通砲丸投	2年	(1位入賞)
女子共通走高跳	3年	(1位入賞)

～学校運営協議会発足～

昨年度までの学校評議委員会から名称が変更になり、学校運営協議会が発足しました。名称変更だけでなく、今まで以上に地域の声を学校運営に反映させることを目的としています。市内中学校では初の試みで瑞雲中が先行して実施します。

(コミュニティ協議会「まちづくり昭島北」委員長
(主任児童委員・本校教育活動支援員)
(保護司・本校学校と家庭の支援員)
(自治連合会第20ブロック長)
(前PTA会長)
(元PTA副会長)
(PTA事務局代表) (敬称略)



～ハイツまつりボランティア募集～

7月22日(土)23日(日)に第42回ハイツまつりが行われます。今年も瑞雲生にボランティア依頼がきました。中学生の働きぶりはハイツまつりに必要だそうです。自分たちの地域のために力を貸してくれる瑞雲生を大募集です。詳しくはお便りが配布されます。たくさんの募集をお待ちしております。